



おわび

2017年2月10日発行のニュースレター第65号に、被献日献金活用報告《有志枠》の九州教区女性の会のご報告を未掲載のまま発行してしまいました。大変申し訳ございませんでした。お詫び申し上げます。ここに掲載いたします。今後このようなことがないように留意してまいります。

日本聖公会婦人会役員会一同

《有志枠》九州教区女性の会 第一ブロック集会「黙想会」

報告者 リベカ岡本 愛子 (福岡聖パウロ教会)

今回、日聖婦の「被献日献金の活用」に申請させていただき、有志グループ枠で支援を受けることが出来ました事を感謝します。ご報告させていただきます。

主の平和。

九州教区女性の会 第一ブロック集会として「黙想会」『十字架の道行き』を、大齋節中の3月10日(木)に「カトリック福岡黙想の家」(宗像)をお借りして行いました。出席は、長崎聖三一教会(1名)、宗像聖パウロ教会(2名)、福岡バテル教会(2名)、福岡聖パウロ教会(15名)、男性の方にも声をかけたところ3名の参加があり、ご指導いただいた小林司祭・濱生司祭・中村司祭を含め26名でした。

今年は、何台もの車を連ねての移動は難しいのではないかと話し合いで、日聖婦の被献日献金活用の申請をさせていただき、福岡からマイクロバスで出発しました。

この日は雨が降ったり止んだりとても寒い日でしたが自然に囲まれた静かな教会、鹿児島から移転したザビエル聖堂で礼拝を共にし、賛美し、とてもすがすがしい気持ちを覚えました。

『十字架の道行き』では、3グループに分かれて、昨日の雨で足元があまり良くない道でしたが14の留(ステーション)を司祭様のお話をうかがいながら祈り、イエス様の受難の道をたどりイエス様の事を考えながら一步一步足を踏みしめて各々黙想できましたこと感謝でした。

大齋節の1日を充実した日に出来たことに感謝しながらそれぞれの家路につきました。

○この日の奉獻は、日本聖公会「原発と放射能に関する特別問題プロジェクト」(事務局 長・池住 圭)にお送りしました。

